

日本映画専門チャンネル

“ゴーストライター騒動”
佐村河内守氏のその後に、密着！

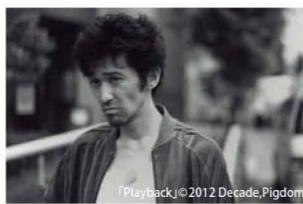


監督:森達也

「FAKE」(ディレクターズ・カット版) TV初

7月2日(日)よる9時 ※ゲスト 森達也
<再放送>7月6日(木)、7月17日(月・祝)ほか

3夜連続若手映画作家特集



監督:三宅唱
「Playback」
7月29日(土)深夜2時10分



監督:濱口竜介
「Happy Award」
7月30日(日)よる11時50分



監督:深田晃司
「歓待1.1」
7月31日(月)深夜1時



監督:三宅唱

主演:森岡龍

渋川清彦 石橋静河 井之脇海 足立智充 柴田貴哉 嶋田久作

音楽:OMSB Hi'Spec

製作:時代劇専門チャンネル・日本映画専門チャンネル



お問い合わせ

日本映画放送 お客様総合窓口

0570-200-262

10:00~20:00
年中無休
詳細はホームページまで!
日本映画 or 時代劇 | 検索

» ヨーロスペース渋谷にて7月22日(土)よりレイトショー
時代劇専門チャンネル・日本映画専門チャンネルにて7月29日(土)25時放送



氣鋭の若手映画監督・三宅唱が描く、誰も見たことのない時代劇の世界

江戸の街並も、刀によるアクションもなく、ただ男が冬の厳しい山のなかを歩き続けてゆく……。

そんなシンプルな発想を出発点にして、いわゆる“時代劇”的構組みまったくとらわれない時代劇が、誕生した。

そんな新たな時代劇に挑んだのは、三宅唱監督。村上淳ら、俳優たちの見事なアンサンブルをモノクロームの映像美とらえた劇場公開第1作『Playback』(12)、OMSBやBimら、ヒップホップアーティストたちが新曲を完成させるまでの2日間を見つめたドキュメンタリー『THE COCKPIT』(14)など、日本映画界に新たな息吹をもたらし、国内外から絶大な支持を得る監督である。

製作は、数々の本格時代劇を作り続けてきた時代劇専門チャンネルと、劇場映画の製作も手掛ける日本映画専門チャンネル。

冬の自然の美しさ、厳しさをとらえた希有な時代劇であるとともに、怒り、後悔、哀しみ、誇りなど、現代のわたしたちも知る普遍的な人間の感情をシンプルに描いた作品。それが『密使と番人』である。



若き才能がぶつかり合うコラボレーション

密使・道庵を演じるのは、映画『エミアビのはじまりとはじまり』(16)で主演を務め、自身も映画監督として活動する実力派俳優・森岡龍。道庵と対峙する番人の長・高山に『Playback』以来二度目の三宅作品出演となり、多くの映画監督たちから厚い信頼を得る渋川清彦。また、彼らの対決に巻き込まれる夫婦を演じるのは、『映画夜空はいつでも最高密度の青色だ』(17)で映画初主演に抜擢された大注目の新人女優、石橋静河と、若手演技派俳優の筆頭でもある井之脇海。そして日本映画に欠かせない俳優である嶋田久作が、すばらしい存在感によってこの時代劇の世界に厚みを与えている。

さらに、本作のためにヒップホップアーティストのOMSBとHi' Specが新たに楽曲を制作。ジャバニーズヒップホップのなかで突出した異色の才能を見せるふたりによって、時代劇とヒップホップという、これまでにないコラボレーションが新たに生まれ出された。

人里から切り離された冬の山

男たちは自らの使命のため、黙々と歩みを進める

十九世紀はじめ、鎖国下の日本。開国を望む蘭学者の一派が、幕府管理下にある日本地図の写しを密かに完成させる。彼らはオランダ人にその地図の写しを渡すため、若い蘭学者の道庵（森岡龍）を密使として出発させる。身を潜めながら、山の中を進む道庵だが、高山（渋川清彦）をはじめとするその山の番人たちは、幕府が手配した道庵の人身書を手に山狩りを始めていた。



監督・編集:三宅唱 企画:宮川朋之 プロデューサー:八巻洋平 松井宏 脚本:三宅唱 松井宏 ラインプロデューサー:城内政芳 撮影:四宮秀俊 照明:秋山恵二郎 録音・整音:川井崇満 助監督:野尻克己 美術:渡辺大智 衣裳:岩崎文男 メイク:徳田芳昌 結髪:中山香津世 小道具:泉佳央里 制作進行:村上麻里 監督助手:萬代健士 近田佳嗣 撮影助手:下川龍一 深谷裕次 照明助手:蟻正恭子 拓植勇人 録音助手:古木雅人 衣裳助手:澤田枝里 メイク助手:米丸架菜子 制作進行:村上麻里 制作進行見習:城真也 両角周 制作応援:福井一夫 制作管理:山川雅彦 キャスティング:神林理央子 スタントコーディネート:富田稔 スチール:鈴木淳哉 タイトルデザイン:角田純 音楽:Hi' Spec OMSB 制作プロダクション:アルタミラピクチャーズ ビッグダム 製作:時代劇専門チャンネル 日本映画専門チャンネル

劇場

ユーロスペース
EUROSPACE

電話番号:03-3461-0211 HP URL:www.eurospace.co.jp
渋谷駅下車、Bunkamura前交差点左折 〒150-0044 東京都渋谷区円山町1-5 3F

7月22日(土)~8月4日(金)21:10より

料金 ¥1,000均一

監督・俳優陣による初日舞台挨拶あり (詳細はHP等でお知らせ)

TV

時代劇専門チャンネル

日本映画専門チャンネルにて

7月29日(土)25時同時放送